

様式第 12 号 (参考様式第 15 号)

番 号
令和 5 年 1 1 月 2 0 日

千葉県農業再生協議会長 殿

所在地 ○○市○○町○○番地
取組実施者名 株式会社千葉商店
代表者氏名 代表取締役 市原 次郎

令和 5 年度肥料価格高騰対策事業取組中間報告書

肥料価格高騰対策事業実施要領（令和 3 年 12 月 20 日付け 3 農産第 2156 号農林水産省農産局長通知）第 14 の規定に基づき、下記のとおり報告する。

参加農業者からの化学肥料低減計画書の
右側に○がついているメニューを記入

現時点で把握している
参加農業者の取組状況について記載
(記載例については次ページも参照)

取組の実施状況

取組メニュー	取組の実施状況
ア 土壌診断による施肥設計	〇月～〇月にかけて土壌診断を実施し、施肥内容を検討した。
イ 生育診断による施肥設計	葉色カラスケールを用いて生育を診断し、追肥量を調整した。
エ 堆肥の利用	水稲作付後、冬期に堆肥を施用予定。
カ 食品残さなど国内資源の利用	水稲収穫後、残渣をすきこんだ。
ク 緑肥作物の利用	ソルゴーを〇〇ha において作付した。

(注)

- 取組メニューには、取組実施者において取り組んでいるメニューを記入し、適宜、行を追加すること。
- 参加農業者が、中間期間までにどのような取組を行ったのか、また、取組前と比べてどの程度取組が進んでいるか、使用記録等を参照し記入してください。

次ページへ

取組の実施状況の記載について

記載にあたっての考え方

- ・既に収集済みの証拠書類や、堆肥や有機質肥料の注文・販売状況等を元に記載願います。
- ・証拠書類及び各参加農業者からの取組実施状況報告書については、令和6年7月が最終的な提出期限となるので、中間報告書の提出の為だけに書類を収集する必要はありません。（勿論、書類を集めた上で記載いただいても問題ありません。）

具体的な記載内容について（例示）

ア 土壌診断による施肥設計

- ・〇月～〇月にかけて土壌診断を実施し、施肥内容を検討した。
- ・従来より土壌分析の項目を増やし、塩基のバランスにも留意した施肥設計を行った。（◎ 強化・拡大）

イ 生育診断による施肥設計

- ・葉色カラスケールを用いて生育を診断し、追肥量を調整した。
- ・従来より測定項目を増やし、茎径や葉長も測定することで、生育状況を把握し、養液の組成の見直しを行った。（◎ 強化・拡大）

ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入

- ・部会全体で低投入型の栽培暦を元に栽培を行った。
- ・低投入型の栽培暦を元に栽培する面積について、令和4年度の●●haから令和5年度は××haに拡大した。（◎ 強化・拡大）

エ 堆肥の利用

- ・水稻作付後、冬期に堆肥を施用予定。
 - ・堆肥の施用量を見直し、単位面積あたりの投入量を増やした。（◎ 強化・拡大）
- オ～キについては、エと同様。

ク 緑肥作物の利用

- ・ソルゴーを〇〇haにおいて作付した。
- ・ソルゴーの作付面積を令和4年度の●●haから令和5年度は××haに拡大した。（◎ 強化・拡大）

ケ 肥料施用量の少ない品種の利用

- ・ふさおとめを栽培した。
- ・ひとめぼれの栽培面積を令和4年度より拡大した。（◎ 強化・拡大）

コ 低成分肥料の利用

- ・L型肥料を導入し、栽培を行った。
- ・L型肥料を施用する面積について、拡大した。（◎ 強化・拡大）

サ 可変施肥機の利用

- ・ドローンによる空撮から生育診断を行い、可変施肥機を用いて施肥を行った。

シ 局所施肥の利用

- ・側条施肥について本年度より導入し、水稻の栽培を行った。
- ・うね立て同時施肥を行う面積を令和4年度より拡大した。(◎ 強化・拡大)

ス 育苗箱施肥の利用

- ・水稻栽培において、「苗箱まかせ」の導入を行った。

セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し

- ・新たに肥効調節肥料を導入し、施肥量の削減を行った。

上記はあくまで記載例であり、このとおり記載しなくてはならないということではありません。

記載内容について、不明点があれば、お問い合わせください。